

## 「鹿屋市校区対抗駅伝大会」要項

### 1. 趣旨

校区対抗駅伝競技を通して、健康づくりや優秀な選手の育成など、スポーツを通じて地域の活性化と共に陸上競技の普及を図る。

### 2. 主催 Kmtk Jr. (ランニングクラブ)

### 3. 後援 鹿屋市

### 4. 協力 鹿屋市陸上競技協会

### 5. 期日 令和5年11月18日(土) (少雨決行：荒天時は陸上教室のみ開催)

日程 ◎受付開始 8:30

◎受付終了 9:00

◎開会式 9:15

◎スタート 10:15

◎ゴール 10:45

◎陸上教室 11:00(荒天時は9:30~11:30)

◎閉会式 11:45

### 6. 会場 平和公園多目的グラウンド周辺 (荒天時：平和公園屋内練習場)

### 7. 競走路距離：8区間8km

(平和公園多目的グラウンド前を中心とした周回コースによる駅伝競技とする。)

《区間・距離・出走条件》 8km

1区 1km 小学女子

2区 1km 小学男子

3区 1km 小学男子

4区 1km 小学女子

5区 1km 小学女子

6区 1km 小学男子

7区 1km 中学女子

8区 1km 中学男子

### 8. 参加資格

(1) 在籍している小学校区または、出身校区から出場できる。

(2) 小学4年生から中学3年生の者。(校区によっては小学3年生以下も認める)

(3) 日頃から運動習慣があり、健康であること。

(4) 要項に記載されている注意事項に承諾する者。

## 9. チーム編成

- (1) 1つの校区だけで編成できるチームを校区チーム、複数の校区で編成されるチームをオープンチームとする。
- (2) 校区チームに出場数の上限は設定しない。
- (3) 1つの校区で編成できない選手でオープンチームを編成する。
- (4) 申込時の申告タイムより主催側で区間配置を決定する。(速い順に配置)
- (5) Kmtk Jr. ホームページより 11 月 1 日以降に区間配置を掲示する。
- (5) 規定の人数に満たない校区はオープンチームでの出場となる。
- (6) 7 で定められている出走条件に合致しない選手の区間タイムは 5, 6, 7, 8 区の区間で区間賞を決定する。

## 10. 申込期日

- (1) 参加申込締切 令和 5 年 10 月 19 日 (木) 17:00

※ 「Google foam」より入力する

<https://forms.gle/BNiXfjmc2PrHfTKi7>

- (2) 参加料 500 円を大会当日の受付時に支払う。
- (3) 申し込み後、欠場がある場合は、クラブホームページより大会不参加届を送信する。



## 11. 競技方法

- (1) 本大会は、日本陸上競技連盟競技規則・日本陸上競技連盟駅伝競走規準ならびに本大会の申し合せ事項により行うこと。
- (2) タスキは主催者で貸与したものを、肩から脇下を通し掛けて走ること。
- (3) 選手は胸と背にナンバーカード（主催者で準備）を付けて走ること。
- (4) コース内の誘導等については、係員等の指示に従うこと。
- (5) 選手招集については、スタート時間 15 分前に 1 区から 4 区、スタート後に 5 区から 8 区を招集する。スタート地点・中継所付近で係員のチェックを受けること。
- (6) 走者の中継所への到着がはなはだしく遅れる場合、繰上げスタートを行うこと。
- (7) レース途中で選手に故障が生じたときは、審判長の指示に従うこと。レースを中止した場合、当該チームはその区間最下位チームの記録に 1 分を加算する。次走者は最下位チームと同時にスタートすること。

## 12. 表彰

- (1) 各クラス 1 位～3 位には賞状、メダルを授与する。
- (2) 区間 1 位には賞状、楯を授与する。

### 13. 開催判断

- (1)雨天時の最終判断は、11月18日(土)当日、午前6:30に主催側で判断する。荒天の場合、前日11月17日(金)の夕刻の天気等で、ある程度判断する。
- (2)大会を中止し、陸上教室のみの開催となった場合、Kmtk Jr. (ランニングクラブ)のホームページで知らせる。

### 14. その他

- (1)各家庭で事前に事故防止や、応援のマナー等について注意・徹底を図ること。
- (2)事前の練習においても、事故や健康状態に注意すること。

### ※注意事項

- (1)取得した個人情報は、主催者が運営する活動にのみ利用し、適正かつ慎重に管理する。
- (2)本大会の競技中に万一発生したケガや事故については、主催者側が加入している保険適用範囲内において対応する。
- (3)取材により映像・画像がメディアの広報活動や主催側の SNS や大会報告書等で使用される場合がある。